



兵庫支部NEWS H21年 11月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

地域貢献度 日本一 次代につなぐ青嵐の誇り

第59回北九州市立大学同窓会総会開催

平成21年10月25日(日)第59回北九州市立大学同窓会総会・懇親会が、ホテルニュータガワ、小倉北区において約350名の同窓生を集めて華やかに開催された。

午前11時から始まった総会で、携帯電話などでメールのやりとりする時代、顔を合わせて話し合う事も必要また昨年度の就職率は96.3%と好調だったが今年度の就職戦線は厳しく同窓生の支援をお願いしたい、と山下会長から挨拶があった。



(総会で挨拶する山下会長)



続いて功労者表彰が行われ特別会員4名(名誉教授)、本部役員3名及び関西支部の出口耕三幹事長(44米英)等支部役員9名が表彰された。

報告事項については土田久好副会長(H5政治)が進行役となり議事が進められて、(表彰を受ける出口幹事長)平成20年度事業(会務)報告決算報告、監査報告の後、平成21年度事業計画、予算について報告された。

12時30分から懇親会が始まり、北九大は地域貢献度日本一(H20.10.20日経)にランクされ、また矢田俊文学長は全国公立大学77校が会員となっている「公立大学協会」の会長に今年5月就任されたことなどが披露された。

阿南理事長ご発声の乾杯で懇親会が始まり



(阿南理事長ご発声で乾杯!)

毎年恒例となったチアガールが元気な演技を披露して、出席者の注目の的となっていた。また旅行券の当たる福引も行われたが、残念ながら何も当たらず。最後はお馴染みの逍遥歌でお開きとなる。



(チアガールの元気な演技)

今回は兵庫支部の新制度により、交通費と参加費を支部の負担で2年ぶりに参加させていただき本当にありがとうございました。2年前よりは役員の顔ぶれが変わり、同期生も少なく、少し寂しく感じましたが…(名越英昭記)

兵庫支部忘年会にお出で下さい 12月5日(土)午後5時半～於本館牡丹園



会場:本館牡丹園 電話078-332-4588

神戸市中央区元町通1丁目11-20

JR元町駅東口、南へ(大丸方面)徒歩1分

会費:男性 7,000円 女性 5,000円

申込先:兵庫支部事務局長 二宮慶治郎(38米英)

電話:078-851-1875 携帯090-5010-4954

E-mail:ninom406@skyblue.ocn.ne.jp

会場は「三金会」「囲碁の会」の会場として利用させていただいてるお店です。広東料理をメインにした中華グルメをご堪能してください。

(11月27日現在22名出席予定)

兵庫支部月例会10月三金会

10月16日(金)午後6時過ぎ三金会10月例会が「本館牡丹園」で開催された。

出席者:大村実良(33商)河野旺生(36商)平間正昭(37商)山本信司(37米英)名越英昭(37米英)二宮慶治郎(38米英)赤松初夫(40米英)前原賢作(40商)中村明人(41商)安徳信義(44商)以上10名 一敬称略一

まず忘年会の予定が確認され、5時半から9時頃まで、会費を上述の通り決め、過去3年間支部行事に参加した人に案内することにする。



次に10月18日

開催予定の関西支部総会への出席について。兵庫支部から支部長を含めて少なくとも役員3名を派遣する事とし、会費を支部費で負担するが、支部長以外で2人以上の役員が出席する場合は、支部長分は全額、その他は出席者で分配することにする。今回は支部長及び安徳、山田、松山、名越が出席予定である。

本部の総会参加について、三宅幹事が都合で出席できないとのことで、三金会出席の中村明人氏に出席を検討してもらうことになった。(後日出席できないとのことで名越顧問が出席することになった)

三金会会場の「本館牡丹園」社長の趙国良氏が明亮さんと10月18日結婚式を挙げるとのことで、支部としてお祝いをする事になり、過去の例(フリージア・ママ、雲南茶苑・ママ)に基づき同程度の費用で祝電・花束などを用意することにし、当日カメラマンとして出席予定の二宮事務局長に手配をお願いする。

「囲碁の会」第14回リーグ戦

優勝は大岡7段、準優勝は前原3級

今年の1月例会から始まった第14回リーグ戦は、欠席者が多発したため、全対局が終わるまで時間がかかり、10月例会までの長期戦となった。



大村支部長(優勝した大岡7段)からそれぞれ賞金が手渡された。

このほど下記の通り、対赤松戦を除く戦績で順位を決定することとして、9勝1敗の大岡7段が優勝、6勝3敗の前原3級が準優勝となり、三金会の席上で表彰式が行われて、



(準優勝の前原3級)

11月例会から第15回リーグ戦が始まる予定で、フルメンバーの8人が参加する予定で熱戦が期待される。

第14回リーグ戦成績表 H21年1月～10月

	大岡	平間	山本	名越	前原	赤松	安徳	
大岡7段		○	○	X	○		○	9勝1敗 (9勝1敗)
平間3段	X		X	○	X	X	○	5勝5敗 (5勝7敗)
山本初段	X	○		○	○		○	5勝5敗 (5勝5敗)
名越2級	○	X	X		X	○	○	4勝6敗 (6勝6敗)
前原3級	X	○	X	○		○	○	6勝3敗 (8勝3敗)
赤松3級		○		X			○	(3勝2敗)
安徳4級	X	X	X	X	X	X		0勝9敗 (0勝11敗)

上段は赤松戦を除く、カッコ内は赤松戦を含む

秋の叙勲受章者

北九大名誉教授3人が瑞宝中授章

11月3日発表の秋の叙勲受章者に、3人の北九大名誉教授が瑞宝中授章を受章された。

誠におめでとうございます。

井田 輝 敏	79	北九州大名誉教授	福岡
浦野 平 三	78	北九州大名誉教授	福岡
河村 博 文	80	北九州大名誉教授	島根



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店
安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897
神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302
TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

明るく 元気で 楽しい 同窓会
平成21年度関西支部総会開催

10月18日(日)午前11時から新大阪ワシントンホテルプラザにおいて平成21年度関西支部総会・懇親会が開催された。来賓・講演者・同伴者等を含め総勢93名と、ここ最近では最多数の出席者で新役員陣の奮闘ぶりが窺えた。

御堂支部長から3期6年の支援に対し謝意を表し、松尾新支部長への協力を！と挨拶があった。

先の役員会で新支部長に選任された松尾祐嗣氏(45経営)は就任挨拶で「会員の目線に立って触れ合いと憩いの場…(会員の 会員による 会員の為の同窓会)」を基本方針として、4項目の活動方針を披露した。



活動方針

1. 同期会立ち上げ
* 記念年度卒の同期会立ち上げ
* 若年度卒の同期会立ち上げ
2. サークルの立ち上げ及び再立ち上げ
3. 趣味の会、健康の会立ち上げ
4. 上方新聞の充実

(松尾新支部長)また事業年度を10月-9月から4月-3月に変更し、今年度は来年3月31日までとなる。これに伴い来年の支部総会を6月20日(日)に予定しているとのこと。

講演会は、株式会社ウェザーニューズ創業者であり北九大同窓生の石橋博良氏(44米英)の話があり、規制の厳しい気象情報を主業務としているが故の苦労話などがあり、奥様も北九大の同期生ということで、同期の女性から花束が贈られて、44年卒の同期ばかり13名が集まり記念撮影がなされた。



(44年卒同期生が石橋氏を囲んで記念写真)唐渡吉則氏のトークショーが始まった。毎日放送のパーソナリティ、放送歴30年のキャリアで快調なテンポで話が進む。

姪だったか甥だったか、血縁者が北九大卒業生と結婚することになり北九大と縁ができたこと、出席者との親近感をアピールし、かつて(今も?)「六甲おろし」を引っ提げて紅白歌合戦に真剣に挑戦したとか。

最後は逍遥歌の大合唱、そして囲碁同好会会長である都留猛氏(325米英)による万歳三唱で終宴となる。

二次会は同ホテル1Fにある居酒屋「ばら家」にて30人近くが集まりカラオケ三昧の楽しいひとときを過ごした。



(唐渡吉則氏)

世界遺産熊野古道めぐり

第7回三鍋王子から高山寺(紀伊田辺)まで 11.5km

10月14日(水)第7回目の熊野古道めぐりは、三鍋王子からのスタートだ。

いつものように名谷→谷上→神戸駅前と集客して、湾岸線→阪和線→湯浅御坊道路→阪和線を経由して、三鍋王子に到着したのは10時半だった。そこで本日の語り部さんと合流。7月の第5回の時と同じ天野さんと村田さんだった。



(南部高校前を通る)

ストレッチ体操の後、ウォーキング開始。今回も市街地が多く殆んど平坦な道ばかりだ。JR南部駅前を通り過ぎ、南部高校前の道を行く、南高梅を開発したのだと教えられ、ネットで確認すると、明治時代に果実の大きい梅を見つけ栽培し高田梅と名付けられていたが、戦後優良品選定作業に調査・尽力した南部高校の教諭が高田梅を最優良品と認定し、南高梅と名付けたことが起源だとのこと。

市街地を歩いていると至る所に右の写真のように海拔表示の看板が見受けられた。台風や地震などの災害に備えたものであろう。



ほどなく鹿島神社に到着。旧三鍋王子社の本殿を移築して合祀されているとのことで、出発地点の三鍋王子跡には小祠があるのだと説明されていた。

その昔二度にわたる大地震・大津波に鹿島の御山から怪火があらわれ東西に高波を割いて、被害を免れたと、報恩感謝の為花火を奉納。現在では毎年8月1日に開催される花火祭は近隣の名物となっている。

途中で梅が干してある場所を通り過ぎた。甘酸っぱい香りが漂い、思わずのどをぐり。

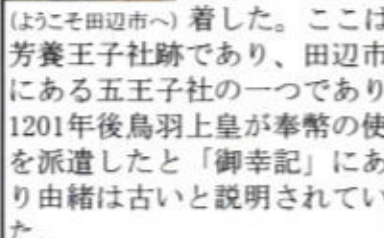
しばらく行くと「国民宿舎紀州路みなべ」の案内看板がある。露天風呂もありますよ、と語り部さん。



(梅の干場)

やがて田辺市へと入る所では道路際に弁慶の人形が歓迎してくれる。この辺りの海岸には、清姫の袖摺り岩があると案内地図に紹介されていたが、足場が悪く今回はオミットとのこと。残念!

井原隧道を通り抜けた所に井原観音さんの祠があった。やがて芳養大神社に到着した。ここは芳養王子社跡であり、田辺市にある五王子社の一つであり1201年後鳥羽上皇が奉幣の使を派遣したと「御幸記」にあり由緒は古いと説明されていた。



(芳養大神社本殿)

芳養大神社を出てすぐ善得寺に入った。何かあるのかと思ったらトイレ休憩の為だった。それから15分ばかりで芳養一里塚跡に着いたが、ここは祠があり一里塚地藏尊が祀られていた。18番目と語り部さんは言っていたが、どこから18番目なのかは聞き渡らした。



(芳養一里塚跡)

12時半を回ってやっと昼食場所の市民球場に到着した。配布された熊野古道案内図でとここからゴールの高山寺までは4km程度と思われ、随分早く帰れそうだなと思っていたら、熊野古道を外れて天神崎廻りのコースだと。約4km増だ。



(天神崎の標識と歌碑)

ぐるりと岬を廻って熊野古道に復帰すると、潮垢離濱跡の石碑がある場所に到着。中辺路を目前にした人々はこの辺りで海水で身を清めたのだと。



そこから10分もかからない処

に出立王子社跡(潮垢離濱跡の石碑)に到着。出立王子社は八立稲神社に合祀され、ここには1基の石碑を残すのみと説明されている。八立稲神社はここから5分位の処にある。

いよいよ最後の目的地高山寺である。八立稲神社から15分ばかりで高山寺の立派な山門前にやってきた。その前にある「まるせん蒲鉾店」には



(高山寺山門)

山門から続く長い階段を上ると美しい多宝塔が見えてきた。



(多宝塔)

江戸時代に再建されたものとか。国内では最南に位置する多宝塔として貴重だとのこと。高山寺は、聖徳太子の開祖、弘法大師が中興の真言宗仁和寺派の古刹で、植物学者・生物学者として著名な南方熊楠、合気道創始者である植芝盛平の墓がある。また縄文時代早期の土器が出土した高山寺貝塚がある。



(まるせん蒲鉾店)

(右は高山寺本堂)



歩こう会10月例会

北条の五百羅漢とお葉つきイチョウ

10月11日(日)午前11時北条鉄道北条町駅に集合ということでインターネットを駆使して、いろいろなルートを探ると、JRにしろ神鉄にしろ栗生駅からの北条鉄道を利用して終点の北条町駅へ向かうかあるいは三宮からだ神姫バス的高速バスが中国道の北条バス停まで約1時間。二宮会長はこれを利用されたが、北条町駅まで徒歩約10分を要すること。北条鉄道も1時間に1本程度で、10時半と11時半に到着する便あり。

元田氏と筆者は10時半着二宮氏も中国道バス停から徒歩で同時刻程度に到着したが安徳氏は時間表読み違いで、一つ後の電車となった。

北条鉄道はJRから分離されて第三セクターによる運行で加西市長が社長であるが、先日民間から社長をを募ると新聞で見かけた。

本日の参加者4名、神鉄広報紙「すずらん」で紹介の「加西のお葉つきイチョウ黄葉散策コース」の案内図を参照しながら歩くと、前方に由緒ありそうな多宝塔が見えてきたので立ち寄ることにする。行基菩薩の開創と伝えられる名利酒見寺(サ'シ')の多宝塔は重文とのこと。案内図には紹介されてはいなかったが北条といえば五百羅漢が有名なのでそちらにも寄りこ

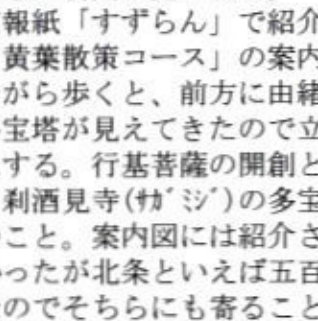
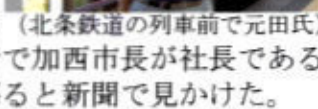
にする。5~6分ばかりで到着。

「いつ、誰が、何のために」造られたかを示す資料も史実もなし、戦争か飢饉で無残な死を遂げた人々の霊を追弔供養のためか、とパンフには説明されている。寺務所では

幻一(マ'ロシ'ハツ'メ)の木版画の展示があり、ユニークな作品が並べてあった。その一つを左に紹介する。「人それぞれ容形は違えども 惜しむ命はみな同じ」と

しばらく住職さんの話を聞き、羅漢寺入り口で記念撮影をしていただき(右)本日の主目的「お葉つきイチョウ」の場所へと向かう。

中国道を潜り、緩やかな勾配の舗装道路をしばらく登ってゆき、加西市斎場の案内標識がある辺りから下る。約1時間で民家が並ぶ細い道に入り、「殿原のイチョウ」の標識ある所から山道に入り、更に登ってゆくと庚申堂の前に出た。庚申堂前の広場に格好のテーブル・イスがあり、ここで昼食をとる。気がつけばイチョウの大木の下で、地面に



落葉が多くあり、中には実がついた葉がある。これが「お葉つきイチョウ」かと、上を見上げて、地面を見まわし、それらしきものを探し求め採集に努める。右は持ち帰って撮影したものです。

イチョウは樹齢約300年と推定され、根周り5.9m、目通り幹囲4.0m



樹高約37m、枝張り東西32m、南北30m、の大木で、葉上に花が付き、5~6月頃豆大の種子がなり10月頃落果する。全国的にも類例が少ない点において価値が高い、と説明されていたが、後日神戸新聞紙上で、丹波市青垣町の熊野神社にも同様の「お葉つきイチョウ」があり、ギン



ナンを拾い「命の神のイチョウとして、離れて暮らす家族や親戚に贈る」とあった。

次の目標はランドマークタワー、根日女の塔だ。満願寺川沿いに南下し、中国道を潜り、どんどん南下して行き、小高い丘の方に右折して進むと「いこいの村はりま」の入り口にやってきた。そのまま進むと、宿舎の建物が見え、右手に遊歩道入り口がある。それほど高くはないのだが疲れた身に結構堪える。頂上には燈台のような建物があり「根日女」と思しき絵図が画がれていた。

根日女は2人の若者と知り合い恋に陥り、2人から求婚されるが里を離れられず。この2人は都に帰り大和を平定し、23代顕宗天皇24代仁賢天皇となり、根日女を皇后として迎えるため使者を遣わすも病に伏し、息を引き取った為、手厚く葬り、墓の表面を美しい玉石でおおったと。それが現

(根日女の塔)在玉丘古墳として残っている由。

帰りは別のやや緩やかな坂を下っていると、道端にパラポラアンテナの様な物を付けたポールがある。伝声管だと。早速声が伝わるかどうか安徳・二宮の二人がいろいろ試していたがどうだったのか。

平地に下りて左手にギネスブック認定の大地球儀を眺めながら、北条町駅まで一目散。16:55無事到着。

「歩こう会」100回記念バスツアー 讃岐うどん+栗林公園(日帰り)

開催日時:12月20日(日)午前9時集合

集合場所:JR三宮駅前、国道2号線沿い山側

募集人数:28人(マイクロバス利用)一先着順一

(11月27日現在17名)

予定コース:三宮→淡路S/A→霊山寺(1番札所)→四国村・わらや(讃岐うどん)→栗林公園
三宮帰着 午後6時ごろ予定

申込先:二宮:Tel.&Fax..078-851-1875

ninom406@skyblue.ocn.ne.jp